

様式第1号（第6条関係）

協働事業に関する提案書

令和5年1月13日

（あて先）狭山市長

団体名 いりそら

所在地

代表者名 宇都宮 瑞恵

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	いりそらマルシェ
3 事業期間	令和5年4月1日から令和6年2月29日
4 事業種別	継続事業
5 事業予算	総額 278,000 円（内補助金申請額 120,000 円）
6 事業概要	令和4年度に協働事業として実施した「いりそらマルシェ」を継続して実施する。新年度はさらにナイトマルシェ（7月予定）を追加し、昼夜各々の時間帯で地域の魅力を引き出しつつ、さらなる市民交流・地域活性化の一助とする。
7 希望する担当課	環境経済部 商業観光課
8 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号）

様式第 2 号（第 6 条関係）

協働事業に関する企画書

団体名 いりそら

1 事業名	いりそらマルシェ
2 事業の詳細	<p>① 令和 5 年 7 月および同年 11 月に入曽駅前商店街の一角でマルシェを実施する。地元商店街からの出店はもちろんのこと、クリエイターによる作品の販売、地場産野菜の販売、音楽等のライブ活動などを行い、市民交流を促進する。</p> <p>② 昨年度からの継続した課題となっている、地域活性化に資する人材発掘にもマルシェ事業と並行させて取り組んでいく。入曽駅前は今後開発行為が進展するが、入曽地区が備え持つ既存の魅力も保持しつつ、新たな価値を付与するリノベーションまちづくりの手法についても研究し、実践につなげられる人材の創出につなげていく。</p>
3 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・いりそら役員、会員、出店者 ・地域のボランティア ・学生ボランティア ・行政職員（諸手続補助等） <p>※庶務・事務連絡等はいりそらが運営する</p>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ事業の企画・広報・調整・実施 ・マルシェやまちづくり・出店を希望する人材発掘等
	<p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種手続や広報の補助や支援・助言等 ・実施事業当日の運営支援や見守り等

<p>5 協働の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ事業については、商店街や地域住民からの信用・信頼を得やすくなり、事業実施が円滑となり易い ・道路使用許可申請等の許認可申請などに対する助言や補助による諸手続の効率化 ・市の発行する広報紙を活用し、市民に幅広く事業を伝えることが可能となる
<p>6 事業のアピールポイント</p>	<p>昨年度は商店街の皆様、近隣にお住まいの皆様にご理解やご支援を賜り、盛況であった。5年度は夏と秋に開催し、イベントとしての定着を図る。夏にはナイトマルシェ（仮称）として夕方から夜に事業を実施し、時間帯によって異なる地域の魅力を引き出すことにも取り組んでいく。</p> <p>イベントや駅前商店街、入曽地域が持続可能なまちとなるように、5年度はまちの担い手発掘にも取り組んでいく。市内在住在勤者を問わず、リノベーションまちづくりに関わりたい挑戦者を発掘する。従来の商店街の機能は生鮮品や生活必需品が一度の買い物で済むというものであったが、現在では多くの消費者はそれを商店街に対して求めていない時代となっていることが伺えるため、商店街が別の側面からまちづくりの拠点・核としての役割が担えるような魅力的なまちづくりの手法について考えていく。</p>